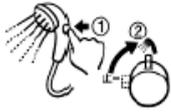
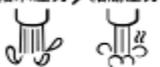


水栓金具 ヤケドをしないための警告事項

<p>(禁止)</p>	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。 ※圧力変動がおり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>シャワーには45℃以上の湯を通さないでください。 ※高温のシャワーヘッドに触り、ヤケドをする恐れがあります。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>給湯器の給湯温度設定は85℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。 ※なお、誤動作によるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p>	
	<p>【分岐止水栓、分岐口付きの場合】 分岐器具と同時に使用しないでください。 ※圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>【スイッチシャワー付の場合】スイッチシャワーの吐水スイッチを誤って押さないでください。 ※いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>【スイッチシャワー付の場合】スイッチシャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※吐水スイッチが押され、いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>(分解禁止)</p>	<p>【寒冷地用の場合】 水抜栓は水抜以外の目的で開けないでください。 ※水抜栓をいきなり開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
	<p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>(禁止)</p>	<p>水栓の左側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>高温の湯をお使いのときは、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>(触禁)</p>	<p>高温の湯をお使いのときには、シャワー・整流の切替は行わないでください。 ※キッチンシャワーは高温になっており、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

水栓金具 ヤケドをしないための警告事項

 (指示)	<p>お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。 ※ご使用時は低温から少しずつ調節して、適温になるようにしてください。</p>	
	<p>スイッチシャワー付の場合、使い始めの際に、吐水スイッチを押してからハンドシャワー・吐水口切替ハンドルをシャワー側に回してください。 ※一時止水スイッチを押した状態でシャワー側にすると、一瞬シャワーが出るためヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>温度調節ハンドルの温度表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>温度調節ハンドルはゆっくり回してください。 ※急に回すと温度が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>お使いになる前に、シャワー側か吐水口側かを確認してから切替ハンドルを回してください。 ※間違えるとヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、(温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻し)しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次に使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
	<p>ストレーナーの掃除をする際は、ストレーナーを緩める前に、必ず流量調節栓を閉めてから行ってください。 ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
	<p>お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。 ※水栓が破損し、家財を濡らす恐れがあります。 また、誤作動によるヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。</p>	
	<p>給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	<p>給水圧力 > 給湯圧力</p> 
	<p>レバーハンドルの温度位置を確かめて吐出してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>レバーハンドルは、ゆっくり操作してください。 ※急に操作すると、音が出たり、吐出温度が急に変わります。</p>	
	<p>お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから閉めてください。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	